

## 南区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
子育て支援啓発事業		南・子育て支援課			
事業目的	事業内容	活動指標	H30	H31/R1	R2
地域や関係機関と連携しながら、親子や子育て世代の交流を促進し、子育て支援情報等の提供やニーズに合わせた相談支援を行い、子育て家庭の孤立化を防ぎ、育児不安の軽減を図る。	・親支援事業5回(父親母親向け1回・母親対象2回・家族向け1回・講演会1回) ・学校地域関係講演・研修会1回 ・区役所子育てひろばサイン作成設置 ・子育て関連情報リーフレット等作成 ・子育て支援情報の提供及び相談支援 等	参加者へのアンケートによる満足度(満足)	98%	98,6%	86,7%
		配布部数等	南区おでかけマップ 5,000部作成、配布	南区おでかけマップ 7,000部作成、配布	南区おでかけマップ 6,000部作成、配布
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性		
◎ 子育てのまち場の実現に向けて、親子のふれあいや子育て世代の交流ができ、子育てに関する情報を発信することにより孤立化の防止と育児不安の軽減を図ることができる。	◎ 民間企業(子育て支援やイベント支援会社)、NPO法人への業務委託にて子育て支援の啓発事業を実施した。民間との協働をすることによって広く啓発することができた。	◎ 父親向け子育て支援事業に関心の高い家族の参加が増えている。初めての出産を控えた家族も参加した。講演会場を大蓮公園にしたことにより市民ニーズにあった柔軟な運営ができた。	△	市民にとってなじみのある南区内の資源を活用することでここで参加するハードルが低くなる。またオンラインでの講演会はリアルタイムでの参加よりもアーカイブ配信がある方がニーズが高まることもわかり、集客への課題が見えてきた。	
⑤自立発展性	総合評価				
○ 行政として子育て支援啓発を実施することは重要であるが、民間との協働もより積極的に考えていく必要がある。	◎ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で予定していた行事のほとんどが実施できなかった。しかし下半期には堺スタイルで感染症対策をしっかりと講じて、密を避けながら実施できたものもあり、参加された市民からは高評価をいただいた。また、オンラインでの講演会や講座の開催にも挑戦した。オンラインの講座に関してはアーカイブ配信がある講座の申し込みは多いが、リアルタイムのみの講座に関しては参加者が少なくなる傾向がわかり今後の課題も見えてきた。				
今後の方向性(課題、改善提案等)					
拡充 継続 見直し 廃止	今年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響もあり思うような子育て支援啓発事業の実施がかなわなかったが、できる限りの範囲で実施した。アンケートによるとイベントに参加した方の86,7%がとてもよかった、よかった、満足している、参考になったと評価した。各行事のアンケート回収結果においても、満足度が高かったことがうかがえた。今年度は昨年度から継続的に親支援を主な柱として取り組み、また、パートナーシップの観点からの父親支援も実施。アンケート結果からも継続的な父親支援に対するニーズが高いことがわかった。今回の特徴はパートナーシップに力点をおいたが、ステイホーム時間が多くなりパートナーとの会話が多くなったこともあるのか、パートナーとの関係性に言及する参加者が多かった。堺スタイルなどにみる新しい生活様式での生活が始まり、家族のカタチ、親子のカタチ、社会のカタチが変容していく中、今後の子育て支援を考えていくうえでも貴重な機会となった。南区子育て支援啓発事業も長年取り組んできたが、新たな生活様式の中で始まっている生活で子どもの育ちを応援するべく、次年度よりは南区子ども家庭支援対策事業に統合し、より一層の子育て支援を展開していく。				